

ヤマネ
国の天然記念物。18g程の冬眠するネズミ。
山形県では絶滅危惧Ⅱ類に指定。

『やまがたヤマネ研究会』とは…？

持続可能な山形の自然環境と未来の自然環境を担う若者や子どもたちのために、野生動物の生態調査と研究結果を生かした環境教育を行っています。専門家任せで遠い存在の『野生動物』や『自然』を身近に感じ、一人一人がほんの少しのアクションで地域の自然の問題を解決できる山形を目指して、地域環境の‘今’を知るきっかけづくりの場を提供しています。

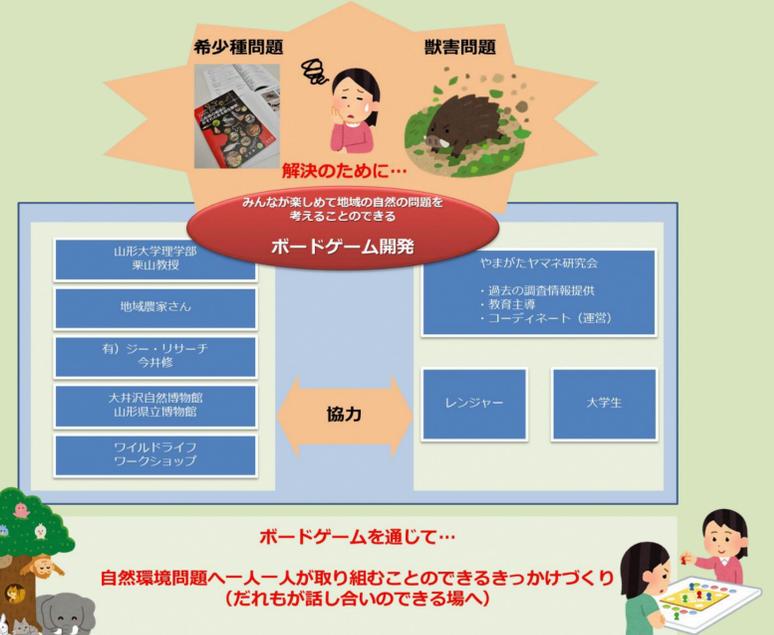
『大学生と地域住民とで作る希少野生動物保全&獣害対策ボードゲームの開発』

本事業の目的は、山形県内で起こってしまう人と野生動物の間の問題（野生動物問題）のうち、「希少種問題」と「鳥獣害問題」を地域の様々な年代の方々に親しみながら、その現状を学び、一人一人が問題に対してアクションを起こせるきっかけづくりのために、山形大学理学部の栗山恭直教授と大学生と共に山形ならではのボードゲームを開発して環境教育イベントを実施することを目的としています。

実施概要は以下の2つです。

- ① 大学生及び地域住民（団体登録レンジャー）とのボードゲーム開発
- ② 広く一般県民を対象とした、希少種保全や鳥獣害対策意識の普及啓発のための体験学習イベントの実施（11月21日・12月19日の計2回実施）

【 活動のイメージ図 】



活動① 大学生及び地域住民（団体登録レンジャー）とのボード



毎月1～2回程度、大学生や団体地域レンジャーと一緒に山形の野生動物を学ぶことのできるオリジナルゲームの開発を行っています。オンラインミーティング・少人数での作成・打ち合わせ会・野外調査を行いながら、お披露目会に向けて準備しています。

活動② 開発ゲームの普及啓発のためのイベントの実施（準備中）

やまがたヤマネ研究会オリジナルゲーム開発記念！！
野生動物観察スキルアップツアー
&
山形の生物を学ぶ新ゲーム体験会

体験会1	体験会2
2020年11月21日(土) 9:00～12:00 【場所】山形市高見ヶ崎 栗山山 東京コミュニティセンター	2020年12月19日(土) 9:00～12:00 【場所】磐前町の丘 磐前町内研修室
【定員】15名(※参加費は別途)※詳細は裏面へ	【定員】15名(※参加費は別途)※詳細は裏面へ
【参加料】無料	【参加料】無料
【締切】11月14日(土) ※詳細は裏面へ	【締切】12月12日(土) ※詳細は裏面へ

※新型コロナウイルス感染症の状況により場所の変更または中止等になる可能性があります。
【申込先と申込方法】
参加希望の体験会番号・参加者全員のお名前(フルネーム)と年齢・電話番号・ご住所を記入の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。
yamagata_yamane@yhb.ne.jp

現在、11月21日と12月19日に実施するイベントの準備を進めています。11月には「絶滅危惧種の森での生態を学ぶボードゲーム『カックウ』」を、12月には「やまがたの人-環境-生物のつながりを学ぶカードゲーム『YAMA-MONOコネクション』」をメディアを誘致してお披露目します。

活動の感想と今後の展開

○ 多くのステークホルダーと協力しながら、新型コロナウイルス下での活動を行うことができました。オンラインや野外での打合せ会の実施、少人数での制作など感染を防ぎながらも前進することができたことに安どしています。上記の活動①と②以外にも、大学生が作る広報パンフレットを通じて、より多くの方に活動が目にとまるよう普及啓発に力を入れることで、山形県民の希少野生生物保全活動へのより一層の参画を目指します。

○ 参加大学生から「大学でも学ぶことのできない自然環境保全の現状を学ぶことができた」、参加レンジャーから「自分のアイデアが形になる過程をみんなと作れた喜びをもとに、子どもと一緒に山形の生物を守っていきたい」という感想をいただきました。また、協力・共同団体・企業からは翌年の協力意向も頂いています。